

RESONA FUND EVALUATION REPORT

りそなファンド評価レポート

2024年6月



りそなアセットマネジメント

トップメッセージ 信頼いただける資産運用会社であり続けるために

平素より、りそなアセットマネジメントに格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2015年に設立された当社は、投資信託の提供を開始してからまだ10年に満たない成長途上の資産運用会社です。しかしながら、りそな銀行の信託財産運用部門としての60有余年の歴史、そして、その長きに亘る年金運用の中で培った知見をしっかりと受け継ぎ、「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」というパーパスのもと、より広くお客さまの資産形成のお役に立てるよう日々の運用を行っています。

わが国では、政府が“資産運用立国”の方針を掲げ、貯蓄から投資への潮流が見え始めたのと時期を同じくして、長らく続いたマイナス金利政策が解除され、株価は史上最高値を更新しました。“失われた30年”から脱却し、金利のある世界、物価と賃金が巡航速度で上昇する世界に向かってようやく第一歩を踏み出した状況です。

こうした動きを持続的でより良い循環へと導くために、個人のお客さまと企業をつなぐ立場としての資産運用会社の役割は今後ますます大きくなっていくと感じています。

当社では、信託銀行としての長い経験をベースにした、お客さま本位の業務運営の実践を進めています。プロダクトガバナンスの実現に向けた取り組みも積極的に続けてきました。2021年4月には社外取締役のみで構成される「ファンドガバナンス会議」を設置して体制を整え、ファンドの設定や運営がお客さまの最善の利益のために行われているかについて定期的な第三者検証を取り入れています。

このたび、プロダクトガバナンスの一層の向上に向け、「りそなファンド評価レポート」を発行いたしました。当社のプロダクトガバナンスの考え方や体制をご報告するとともに、当社が設定・運用する個々の公募投資信託が、真にお客さまの中長期的な資産形成に資するものであるか、また、お客さまにご負担いただくコストに見合った価値を提供できているかという観点から評価した結果をお伝えいたします。

りそなアセットマネジメントは、このようなプロダクトガバナンスへの継続的な取り組みを通じて商品の品質維持・向上に努め、今後もお客さまに安心して資産運用を任せていただける運用会社であり続けるよう弛まぬ努力を重ねてまいります。

2024年6月
代表取締役社長 西山 明宏



RESONA FUND EVALUATION REPORT

目 次

トップメッセージ	1
目次	2
プロダクトガバナンスの考え方	3
プロダクトガバナンスの体制	4
ファンド評価の方法	5
ファンド評価結果(2024年3月末基準) ～全体総括～	7
～アクティブ運用～	8
～バランス運用～	9
～インデックス運用～	15
当レポートで使用する指数の著作権等について	20
当レポートについて	21

当社のパーパスは「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」することです。このパーパスを実現するためには、**当社の商品が真にお客さまの中長期的な資産形成に資することが不可欠**であることから、お客さまの利益を最優先する業務運営の一環として**プロダクトガバナンスが非常に重要であると認識しています**。

プロダクトガバナンスとは、“真にお客さまのニーズを踏まえた中長期に安定的なリターンを確保できる商品が組成、提供できているか”、“組成時に想定した運用が実践され、お客さまへコストに見合うリターンを提供できているか”、“組成時に想定した運用を継続していくことが可能か”等の観点から、個別商品ごとに品質管理を行うことを言います。

プロダクトガバナンスにおいては、**商品組成時における個別商品の適切性の検証に留まらず、商品組成後においても、運用品質が維持されていることを継続的に検証することが重要**です。これらのガバナンスを適切に働かせることにより、アクティブ運用、バランス運用、インデックス運用のそれぞれにおいて当社の商品を長期継続的に提供し続けることができると考えています。

商品組成時においては、中長期的に提供できる商品か、対象とするお客さまは商品コンセプトに合致しているか、想定するリスク・リターンは妥当か、商品内容や業界水準を考慮した適切な信託報酬料率が設定されているか等の観点から、商品の適切性について検証を行います。

また、商品組成後においては、運用哲学や運用スタイルに沿った運用が行われているか、お客さまからいただくコスト（信託報酬等）に見合ったリターンを提供できているか、商品性に合致した運用を継続できるか等の観点から運用品質の検証を行います。なお、当社の商品が想定したお客さまに対して販売されているかについても、今後、販売会社等と連携しながら検証の体制を整えていくことを予定しています。

こうしたプロダクトガバナンスの活動はあくまでもお客さま本位で行われることが重要であると考えています。そのため、**商品所管部署や運用担当部署による自律的な管理に加え、管理部門が検証や評価を行い、さらに社外取締役による第三者検証が行われる体制**としています。

評価・検証の結果、お客さまに対して想定した価値が提供できていないと判断した場合、運用手法の改善や運用体制の見直し等の取り組みを通じて運用品質の改善を図り、それを組織的にフォローアップすることにより、**長期継続的に良質な運用の提供を目指すことがお客さまの最善の利益に資するものである**と信じています。

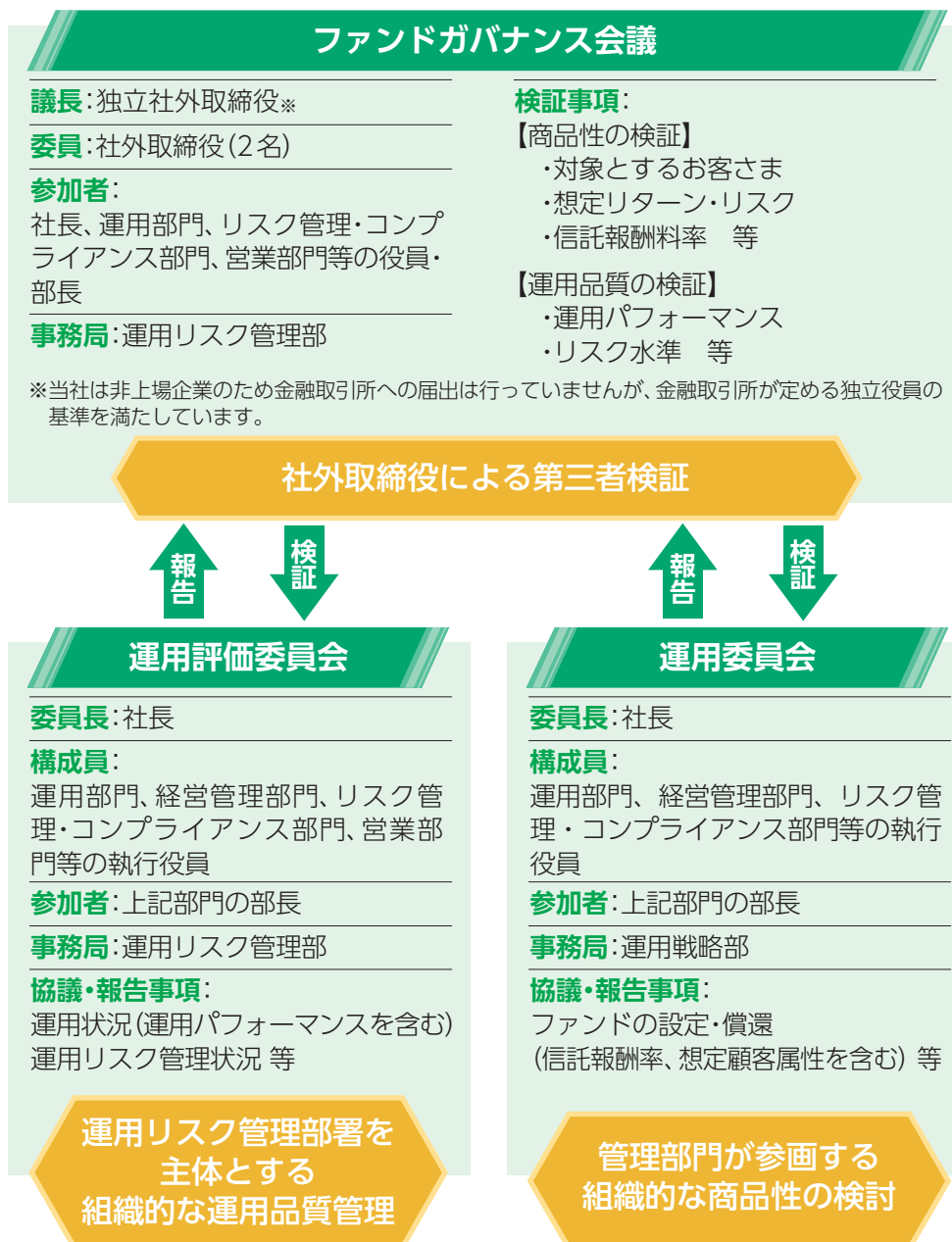
商品性の検証における主な視点

- 中長期的に提供できる商品か
- 対象とするお客さまは商品コンセプトに合致しているか
- 想定するリターン・リスクは妥当か
- 適切な信託報酬率が設定されているか

運用品質の検証における主な視点

- 運用哲学や運用スタイルに沿った運用が行われているか
- お客さまからいただくコストに見合ったリターンを提供できているか
- 商品性に合致した運用を継続できるか

- 商品組成時においては、商品所管部署が主催する運用委員会にリスク管理・コンプライアンス部門が参加し、商品の適切性に係る協議・検討を行います。
- 商品組成後は、各運用担当部署による自律的な運用品質管理に加え、運用リスク管理部署がモニタリングを行い、運用評価委員会にて組織的に共有するとともに必要なフォローアップを行います。
- 社外取締役のみで構成される「ファンドガバナンス会議」を2021年4月に設置し、「商品性」と「運用品質」について第三者検証を受ける体制としています。



評価対象ファンド

- ・当社が設定・運用する公募投資信託を対象に評価を行います。

※ 当社は、お客さまの資産形成に資する中長期的な運用を基本としていることから、基準日時点で運用開始から5年以上経過しているファンドを評価対象とします。

※ 評価は2024年3月末基準で行い、公募投資信託21ファンドを対象としています。

(今後、毎年3月末を基準日とし、運用期間が5年を経過したものから順次評価対象に加えてまいります。)

※ なお、ファンドラップ専用ファンドのように、お客さまが個別に指定して購入・売却を行わない投資信託については評価対象から除いています。

評価項目および評価方法

運用品質

- ・運用品質の検証における主な項目のうち、お客さまにとってもっとも重要と考えられる運用パフォーマンスを評価対象としています。

① 商品組成時の想定目標に対する評価

- ・コスト(信託報酬)控除後のリターンが、商品組成時に想定した評価基準を中長期的に満たしているかを評価します。
- ・アクティブ運用においては「評価基準として設定した指標(参考指数等)を上回っているか」、バランス運用においては「設定した目標リターンを上回っているか」という観点に基づき、過去3年、5年の運用実績を評価します。

② 他社類似ファンドとの相対比較による評価

- ・株式会社野村総合研究所のFundmarkのデータに基づき、資産や運用スタイル等に応じて分類されたカテゴリーの中での他社類似ファンドとの相対比較を行います。
- ・アクティブ運用およびバランス運用においてはシャープレシオ^(注1)、インデックス運用においては実績トラッキングエラー^(注2)のカテゴリー内相対順位に基づき、上位、中位、下位で評価します。

(注1) シャープレシオ:

リターン(ファンドリターン-無リスク資産のリターン)をリスク(標準偏差)で除した値として求められ、リスクに見合ったリターンを獲得できているかという投資の効率性を図る指標として広く用いられています。この数値が大きいほどより効率的な運用ができていることを示しています。

(注2) 実績トラッキングエラー:

ベンチマークに対するファンドの超過リターンのばらつきの度合いを標準偏差で表したもので、この数値が小さいほどベンチマークとの連動性が高いことを示しています。

③ 総合評価

- ・①および②の評価結果に基づき、運用状況等も踏まえ総合的な評価を行います。

※ 2015年設立の当社においては運用期間が10年を超える公募投資信託が存在しないため、評価期間は3年、5年としています。将来的にはより長期の目線で10年の評価を追加する予定です。

※ インデックス運用においては、ベンチマークに対する連動性を見る指標として実績トラッキングエラーに着目していますが、その水準自体の妥当性を評価することは難しいため、他社類似ファンドとの相対比較に基づいて評価します。なお、実績トラッキングエラーのデータが取得できない一部ファンドについてはシャープレシオを用います。

※ また、バランス運用ファンドのうち、運用経過年数に応じて目標とするリスクやリターンが変化するターゲット・イヤー・ファンドのように、商品特性を考慮して目標とするリターンを定めていないファンドについても、他社類似ファンドとの相対比較に基づいて評価します。

商品性

- 商品性の検証における主な項目のうち、お客さまにとって重要と考えられる信託報酬率を評価対象としています。

① 商品組成時の想定目標に対する評価

- コスト(信託報酬)に見合ったリターンが提供できているかという観点から、運用品質の「①商品組成時の想定目標に対する評価」(5ページ)に基づいて評価します。
- アクティブ運用およびバランス運用においては、コスト(信託報酬)控除後のリターンが商品組成時に想定した評価基準を中長期的に満たしている場合、信託報酬率の水準は妥当であると評価します。

② 他社類似ファンドとの相对比较による評価

- 株式会社野村総合研究所のFundmarkのデータに基づき、信託報酬率について、資産や運用スタイル等に応じて分類されたカテゴリーの中での他社類似ファンドとの相对比较を行います。
- アクティブ運用およびバランス運用においては、信託報酬率のカテゴリー内相対順位に基づき、上位、中位、下位で評価します。(カテゴリー内で相対的に低いほど順位は上位となります。)
- インデックス運用においては、各運用会社が指標とするベンチマークへの連動を目指すことから均質な運用が想定され、結果として信託報酬率も一定の範囲に収束する傾向が見られます。そのため、信託報酬率の評価においては、各カテゴリーの中央値から上下に一定水準を超えて乖離していないかを評価します。

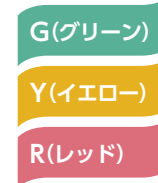
③ 総合評価

- ①および②の評価結果に基づき、商品性や運用状況等も踏まえ総合的な評価を行います。

※ 信託報酬率を評価対象としていますが、今後、総経費率を対象とした評価を検討してまいります。

評価結果

- 「運用品質」と「商品性」のそれぞれについて以下の3段階で評価します。



G(グリーン) 想定した価値が提供できている。

Y(イエロー)

状況の改善に向け継続的なモニタリングを要する。

R(レッド)

課題が認められ改善に向けた取り組みを要する。

- 評価は、運用担当部署から独立した運用リスク管理部署が行い、社内の運用評価委員会に報告した上で、ファンドガバナンス会議にて社外第三者の目線で検証を受けます。
- 評価結果および改善に向けた取り組み状況については定期的にお客さまに開示します。

※ 上記の3段階評価は、英国の投信価値評価(AoV: Assessment of Value)制度に基づき運用会社が公表するAoV報告書において一般的に用いられている段階評価です。

全体総括

- ・当社が設定・運用する公募投資信託のうち、2024年3月末時点で運用期間5年超の21ファンドについて評価を行いました。

ファンドタイプ／評価結果別ファンド数

ファンドタイプ	運用品質			商品性		
	G	Y	R	G	Y	R
アクティブ運用	1	0	0	1	0	0
バランス運用	11	0	0	11	0	0
インデックス運用	9	0	0	9	0	0

G(グリーン)

想定した価値が提供できている。

Y(イエロー)

状況の改善に向け継続的なモニタリングを要する。

R(レッド)

課題が認められ改善に向けた取り組みを要する。

運用品質(運用パフォーマンス)

アクティブ運用およびバランス運用

- ・“想定した運用が実践できているか”、“他社類似ファンドと比較して優位性はあるか”の両面から総合評価を行いました。
- ・想定した目標を下回る状況にあるファンドも見られますが、他社類似ファンドとの相対比較を考慮した結果として、対象となる12ファンドすべてについて「G:想定した価値が提供できている」と評価しました。

インデックス運用

- ・他社類似ファンドとの相対比較に基づいて評価を行い、対象となる9ファンドすべてについて「G:想定した価値が提供できている」と評価しました。

商品性(信託報酬率)

- ・アクティブ運用およびバランス運用については、“コスト(信託報酬)に見合ったリターンが提供できているか”、“他社類似ファンドと比較して優位性はあるか”の両面から総合評価を行いました。
- ・インデックス運用については、他社類似ファンドとの相対比較に基づいて評価を行いました。
- ・結果、対象となる21ファンドすべてについて「G:想定した価値が提供できている」と評価しました。

アクティブ運用

評価結果概要

- ・運用期間5年超のアクティブ運用の公募投資信託について評価を行いました。対象は1ファンドです。
- ・運用品質、商品性のいずれにおいても改善や見直しを要する点は認められず、想定した価値が提供できているものと評価しています。

ファンド名	運用品質	商品性
りそな日本中小型株式ファンド [愛称:ニホンノミライ]	G	G

りそな日本中小型株式ファンド [愛称:ニホンノミライ]

国内の中小型株式を対象に、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行い、中長期的に信託財産の積極的な成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120009/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に対する評価	3年 上回る	5年 上回る	他社 相対評価	3年 上位	5年 上位
----------	-----------	-----------	------------	----------	----------

評価
G

過去3年、5年で評価対象指数であるRussell/Nomura Small Capインデックスのリターンを上回り、他社相対評価においても3年、5年ともに上位にあります。また、中小型株式に投資するため、流動性リスクを考慮した残高管理が適切に行われており、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド 1.80% (下位)	中央値 1.53%
------------	---------------------	--------------

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価
G

他社類似ファンドとの比較においては相対的に高い水準(下位)にありますが、信託報酬控除後で想定した運用パフォーマンスを実現できており、妥当な水準であると評価しています。

バランス運用

評価結果概要

- 運用期間5年超のバランス運用の公募投資信託について評価を行いました。対象は11ファンドです。なお、商品特性を考慮して目標とするリターンを定めていないファンドでは、運用パフォーマンス、信託報酬率ともに、他社類似ファンドとの相対比較に基づいて評価しました。
- 運用品質、商品性のいずれにおいても改善や見直しを要する点は認められず、想定した価値が提供できているものと評価しています。

ファンド名	運用品質	商品性
りそな ラップ型ファンド(安定型) [愛称:R246(安定型)]	G	G
りそな ラップ型ファンド(安定成長型) [愛称:R246(安定成長型)]	G	G
りそな ラップ型ファンド(成長型) [愛称:R246(成長型)]	G	G
DC りそなグローバルバランス	G	G
Smart-i 8資産バランス安定型	G	G
Smart-i 8資産バランス安定成長型	G	G
Smart-i 8資産バランス成長型	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2030	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2040	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2050	G	G
つみたてバランスファンド	G	G

りそなラップ型ファンド（安定型） [愛称：R246(安定型)]

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散投資を行います。5年から10年程度の中長期的な期間を想定し短期金利+2%のリターンを目標とすることにより、信託財産の中長期的な安定性を重視した成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120001/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	下回る	下回る		中位	中位

評価
G

過去3年、5年で目標リターンを下回っていますが、他社相対評価においては3年、5年ともに中位にあることから、総合的に見て商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.60%(上位)	0.75%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価
G

信託報酬控除後で目標リターンを実現できていませんが、運用パフォーマンスが他社相対比較で中位にあること、信託報酬率が他社比較において相対的に低い水準(上位)であることから、総合的に見て妥当な水準であると評価しています。

りそなラップ型ファンド(安定成長型) [愛称:R246(安定成長型)]

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散投資を行います。5年から10年程度の中長期的な期間を想定し短期金利+4%のリターンを目標とすることにより、信託財産の中長期的な安定性と成長性のバランスを重視した成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120002/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年 上回る	5年 上回る	他社 相対評価	3年 上位	5年 上位
--------------	-----------	-----------	------------	----------	----------

評価
G

過去3年、5年ともに目標リターンを上回っており、他社相対評価においても3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	1.00%(中位)	0.93%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価
G

信託報酬控除後で目標とするリターンを達成しており、妥当な水準であると評価しています。

なお、信託報酬率の他社相対評価では中位の水準です。

りそなラップ型ファンド(成長型) [愛称:R246(成長型)]

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散投資を行います。5年から10年程度の中長期的な期間を想定し短期金利+6%のリターンを目標とすることにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120003/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年 上回る	5年 上回る	他社 相対評価	3年 上位	5年 上位
--------------	-----------	-----------	------------	----------	----------

評価
G

過去3年、5年ともに目標リターンを上回っており、他社相対評価においても3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	1.10%(中位)	1.03%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価
G

信託報酬控除後で目標とするリターンを達成しており、妥当な水準であると評価しています。

なお、信託報酬率の他社相対評価では中位の水準です。

DCりそな グローバルバランス

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散投資を行い、信託財産の中長期的な安定性を重視した成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120004/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	上回る	上回る		上位	上位

評価

G

過去3年、5年ともに評価基準としている目標リターン(短期金利+2%)を上回っており、他社相対評価においても3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.60%(上位)	1.10%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬控除後で目標とするリターンを達成しており、妥当な水準であると評価しています。

なお、信託報酬率の他社相対評価でも低い水準(上位)に位置しています。

Smart-i 8資産バランス 安定型

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、債券への投資割合を高め、資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123010/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		上位	上位

評価

G

他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.16%(上位)	0.73%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

Smart-i 8資産バランス 安定成長型

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、債券、株式およびリートに対する投資割合の分散をはかり、安定性と成長性のバランスを目指した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123011/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		上位	上位

評価

G

他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.18%(上位)	0.70%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

Smart-i 8資産バランス 成長型

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、株式およびリートへの投資割合を高め、資産の成長性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123012/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		上位	上位

評価

G

他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.20%(上位)	0.88%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2030

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2030年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120006/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		上位	上位



他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.25% (上位)	0.44%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。



信託報酬率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2040

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2040年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120007/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		上位	上位



他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.30% (上位)	0.44%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。



信託報酬率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2050

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2050年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120008/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		中位	中位

評価
G

他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.35% (中位)	0.35%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価
G

信託報酬率の他社相対評価において中位の水準であることから、妥当であると評価しています。

つみたてバランスファンド

世界各国の債券、株式およびリートに分散して投資を行い、投資対象とする指数をあらかじめ定めた基本的資産配分で組み合わせた合成ベンチマークに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120005/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		上位	中位

評価
G

合成ベンチマークに連動した運用を行い、他社相対評価において過去3年で上位、5年で中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.195% (上位)	0.92%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価
G

信託報酬率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

インデックス運用

評価結果概要

- 運用期間5年超のインデックス運用の公募投資信託について評価を行いました。対象は9ファンドです。なお、運用パフォーマンスについては、他社類似ファンドとの実績トラッキングエラーの相対比較に基づいて評価しました。
- 運用品質、商品性のいずれにおいても改善や見直しを要する点は認められず、想定した価値が提供できているものと評価しています。

※ 実績トラッキングエラーのデータが取得できない一部ファンドについてはシャープレシオの相対比較を行っています。

ファンド名	運用品質	商品性
Smart-i 国内債券インデックス	G	G
Smart-i 先進国債券インデックス (為替ヘッジなし)	G	G
Smart-i 先進国債券インデックス (為替ヘッジあり)	G	G
Smart-i TOPIX インデックス	G	G
Smart-i 日経225インデックス	G	G
Smart-i 先進国株式インデックス	G	G
Smart-i 新興国株式インデックス	G	G
Smart-i Jリートインデックス	G	G
Smart-i 先進国リートインデックス	G	G

Smart-i 国内債券インデックス

国内の債券を主要投資対象とし、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123001/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		上位	上位

評価
G

他社相対評価において、過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.12%	0.15%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価
G

信託報酬率の他社相対評価において中央値から上下に大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i 先進国債券インデックス (為替ヘッジなし)

日本を除く先進国の債券を主要投資対象とし、FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下の URL より交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123004/mokuromi.html>

Smart-i 先進国債券インデックス (為替ヘッジあり)

為替を対円でヘッジした日本を除く先進国の債券を主要投資対象とし、FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・円ベース) の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下の URL より交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123005/mokuromi.html>

1 運用品質 (運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		中位	上位

評価

G

他社相対評価において、過去 3 年で中位、5 年で上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性 (信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.17%	0.23%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬率の他社相対評価において中央値から上下に大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

1 運用品質 (運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		上位	下位

評価

G

他社相対評価において、過去 5 年では下位にあるものの、過去 3 年では上位にあり顕著な改善が見られることから、総合的に見て商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性 (信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.17%	0.24%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬率の他社相対評価において中央値から上下に大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i TOPIX インデックス

国内の株式を主要投資対象とし、東証株価指数 (TOPIX、配当込み) の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下の URL より交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123002/mokuromi.html>

Smart-i 日経 225 インデックス

国内の株式を主要投資対象とし、「日経平均株価 (日経 225)」(配当込み) の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下の URL より交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123003/mokuromi.html>

1 運用品質 (運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年 中位	5年 上位
	—	—			

評価

G

他社相対評価において、過去 3 年で中位、5 年で上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性 (信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.14%	0.20%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬率の他社相対評価において中央値から上下に大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

1 運用品質 (運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年 上位	5年 下位
	—	—			

評価

G

他社相対評価において、過去 5 年では下位にあるものの、過去 3 年では上位にあり顕著な改善が見られることから、総合的に見て商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性 (信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.17%	0.38%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬率の他社相対評価において中央値から上下に大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i 先進国株式インデックス

日本を除く先進国の株式を主要投資対象とし、MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円換算ベース) の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下の URL より交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123006/mokuromi.html>

1 運用品質 (運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		下位	下位

評価

G

他社比較による相対順位では過去 3 年、5 年ともに下位にあるものの、実績トラッキングエラーの水準はカテゴリー

内の平均値とほぼ同水準であることから、総合的に見て商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

● 実績トラッキングエラーの比較

	ファンド	平均値
3年	0.30%	0.30%
5年	0.44%	0.40%

2 商品性 (信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.20%	0.25%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬率の他社相対評価において中央値から上下に大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i 新興国株式インデックス

新興国の株式を主要投資対象とし、MSCI エマージング・マーケット 指数 (配当込み、円換算ベース) の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下の URL より交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123007/mokuromi.html>

1 運用品質 (運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		下位	下位

評価

G

他社比較による相対順位では過去 3 年、5 年ともに下位にあるものの、実績トラッキングエラーの水準はカテゴリー

内の平均値とほぼ同水準であることから、総合的に見て商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

● 実績トラッキングエラーの比較

	ファンド	平均値
3年	0.81%	0.82%
5年	1.14%	1.03%

2 商品性 (信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.34%	0.30%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。

評価

G

信託報酬率の他社相対評価において中央値から上下に大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i Jリートインデックス

国内の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、東証REIT指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123008/mokuromi.html>

Smart-i 先進国リートインデックス

日本を除く先進国の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123009/mokuromi.html>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		中位	中位



他社相対評価において、過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	—	—		上位	中位



他社相対評価において、過去3年で上位、5年で中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.17%	0.35%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。



信託報酬率の他社相対評価において中央値から上下に大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

2 商品性(信託報酬率)

他社 相対評価	当ファンド	中央値
	0.20%	0.30%

※ 記載の信託報酬率は税抜き表示であり、別途消費税等相当額がかかります。



信託報酬率の他社相対評価において中央値から上下に大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

NOMURA-BPI 総合

「NOMURA-BPI 総合」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、日本の公募債券流通市場全体の動向を表す投資収益指数で一定の組入基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに計算されます。NOMURA-BPI 総合の知的財産権とその他の一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 総合指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)

「FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)」は、FTSE 世界国債インデックス (除く日本、米ドルベース) をもとに委託会社が円換算して計算したものです。FTSE 世界国債インデックス (除く日本、米ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・円ベース)

「FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・円ベース)」は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

「東証株価指数 (TOPIX、配当込み)」は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は株式会社 JPX 総研または株式会社 JPX 総研の関連会社に帰属します。

「日経平均株価 (日経 225)」 (配当込み)

「日経平均トータルリターン・インデックス」 (「日経平均株価 (日経 225)」 (配当込み)) に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は日経平均トータルリターン・インデックスを継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延又は中断に関して責任を負いません。本商品について、日本経済新聞社は一切の責任を負うものではありません。

Russell/Nomura Small Cap インデックス

「Russell/Nomura Small Cap インデックス」は、Frank Russell Company と野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークの一つで、浮動株調整時価総額が相対的に小さい銘柄の動向を表す投資収益指数です。その知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社及び Frank Russell Company に帰属します。野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社と Frank Russell Company は、本件インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円換算ベース)

「MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円換算ベース)」は、MSCI-KOKUSAI 指数 (米ドルベース) をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCI-KOKUSAI 指数 (米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利は MSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット指数 (配当込み、円換算ベース)

「MSCI エマージング・マーケット指数 (配当込み、円換算ベース)」は、MSCI エマージング・マーケット指数 (米ドルベース) をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCI エマージング・マーケット指数 (米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利は MSCI Inc. に帰属します。

東証 REIT 指数 (配当込み)

「東証 REIT 指数 (配当込み)」は、東京証券取引所に上場している不動産投資信託 (REIT) 全銘柄を対象として算出した東証 REIT 指数に、分配金支払いによる権利落ちの修正を加えた指数です。なお、指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は株式会社 JPX 総研または株式会社 JPX 総研の関連会社に帰属します。

S&P 先進国 REIT 指数 (除く日本、配当込み、円換算ベース)

「S&P 先進国 REIT 指数 (除く日本、配当込み、円換算ベース)」は、S&P 先進国 REIT 指数 (除く日本、配当込み) をもとに委託会社が円換算して計算したものです。S&P 先進国 REIT 指数 (除く日本、配当込み) は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が有する S&P グローバル株価指数の採用銘柄の中から、不動産投資信託 (REIT) および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数であり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC に帰属します。

- 当レポートは、りそなアセットマネジメント株式会社がプロダクトガバナンスの一環で実施した自社ファンドの評価結果をお知らせするために作成したものです。
- 当レポートは、投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 投資信託のご購入にあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- なお、以下の点にもご注意ください。
 - ✓ 当レポート中の運用実績等に関する記載等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
 - ✓ 当レポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用ができない場合があります。
 - ✓ 当レポートは信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
 - ✓ 当レポートに指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドの設定・運用は

商号等:りそなアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お問い合わせ先

0120-223351

受付時間: 営業日の午前9時~午後5時
(土日祝祭日、年末年始を除く)